

新潟と中国・黒龍江省との友好協力関係30周年

交流の歩み Activity Report

<http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/>
n_jcfa@ybb.ne.jp



特定非営利活動法人
新潟県日中友好協会

1979 Established



表彰理由

1979年の設立以来、中国との交流を進め、その活動を通じて新潟県の国際交流の推進に寄与している。

近年では、杜爾伯特蒙古族自治县「白音諾勒村小学校教育条件改善協力事業」や「新潟・白音諾勒村“ふれあいの森”植樹事業」、並びに、JICAの草の根技術協力事業として、荒漠化が進む黒龍江省嫩江流域における生態林建設の技術協力を行うなど、国際協力に取り組んでいる。

◆1979年5月13日

新潟県日中友好協会創立



初代会長 佐野藤三郎

この協会は、思想、信条、政党政派の違いを越えて、各界各層の日中友好を願う人々が、日中共同声明を基礎として締結された日中平和友好条約にのって、日中友好の一点で結集する県民組織である。

この協会は、子々孫々、未来永遠にわたる日中両国民の相互理解と友好連帯に尽くし、日中友好を発展させるため新潟県内で地域活動を行い、もって日本と世界の平和と繁栄に貢献することを目的とする。

◆1979年 5月

「中日友好の船訪日代表团」（团长：廖承志）を新潟に招致

日中平和友好協約締結（1978年）を記念し、600名の大型代表团が新潟を訪問。新潟県と中国との交流は、これを契機に急速な発展を遂げる。



廖承志团长（中央左・花束）

特定非営利活動法人

1979 Established 新潟県日中友好協会

◆1979年 8月

「黒龍江省農業基本建設技術協力団」を派遣

黒龍江省三江平原農業総合開発計画に係わり、開発対象地域の現地調査を実施。宝清県龍頭橋地区を農業総合開発計画のモデル地区に概定した。



左：佐野藤三郎団長 右：奥村俊二副団長
背景は、“三江平原開発治理総図”（当時は、部外秘だった。）



開発を待つ低湿地



取水工



用水路



水田



宝清県地内“宝石河”河川敷に遺る旧日本軍のトーチカ



「黒龍江省農業基本建設技術協力団」の一部団員
宝清県招待所

延べ3千kmに及び現地踏査を経て、宝清県龍頭橋地区を農業総合開発計画のモデル地区に概定した。



特定非営利活動法人

1979 Established 新潟県日中友好協会

◆1981年 8月～1984年 3月

その後、同開発計画に係わる技術協力は日中政府間協力事業として継承され、国際協力事業団（JICA）は「三江平原龍頭橋典型区農業開発計画」調査を実施し、開発事業の概念設計を整えた。



JICAによる開発計画調査団には、新潟からも4名の専門技術者（灌漑排水1名・地質調査3名）が参加した

特定非営利活動法人

1979 Established 新潟県日中友好協会

◆1985年 9月～1993年 3月

JICAによる技術協力事業はさらに「三江平原農業総合試験場」プロジェクトへと引き継がれた。



1985年12月、「三江平原農業総合試験場」実施協定締結
(黒龍江省水利庁に於いて)

1988年10月、灌漑ユニットの起動式典(「三江平原農業総合試験場宝清試験站」に於いて)



◆1979年10月

「哈爾濱医学考察団」を招聘

考察団の提案を受け、新潟市長が哈爾濱市との友好都市提携の意向を表明。

◆1979年12月

新潟市と哈爾濱市が友好都市提携



川上喜八郎新潟市長と文敏生哈爾濱市革命委员会主任



大久保政賢国貿促新潟支局会長(左・背)

特定非営利活動法人

1979 Established 新潟県日中友好協会